

支部協だより

第20号

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
☎098-870-7101

責任者
稲福政吉

新たな出発！ 盛会だった第一回総会！！

浦浜清治

NTT労働組合退職者の会
沖縄県支部協議会の今年度の総会は会員五十余名の参加の下に十月二十八日、名護市在のカヌチャベイホテルで開催された。

全電通労組は昨年、NTT労組へと衣替えした。それに伴って全電通退職者の会もNTT労組退職者の会として新たな出発をした。従って今総会は第一回総会となり、新しく作成した会旗のお披露目も行なわれた。総会は定刻よりかなり遅れて午後五時三〇分から浦浜副会長の開会挨拶に続いて垣花廣光君を議長に選出し、①稲福政吉会長挨拶、

②NTT労組沖縄県支部勝連正也副委員長挨拶があった。また、来賓として①NTT労組退職者の会中央協議会事務局長の石野昇氏、②沖縄県高退連会長、玉城芳喜氏からもそれぞれの挨拶をいただいた。

稲福会長は挨拶の中で①総会への出席呼びかけは従来、往復ハガキを利用していたが今回は経費節減のため、機関紙『支部協だより』を活用した。②一九九九年度の会員名簿を作成したが不備な点があれば指摘していただきたい。③会費の振り込みはこれまで労金のみだったが今後は他の銀行へ

も広げて会費徴収の円滑を図りたいと、以上三点を強調した。

続いて議事に入り、①与那嶺事務局長から経過報告及び活動方針案、決算報告及び予算案、②黒島会計監査より会計監査報告、③浦浜副会長から規約の一部改正案がそれぞれ提案された後、質疑を経て原案どおり可決した。



現在、三五二名までになっている。旧年度は七一名の退職者中、六十名の方が入会し、八五%の加入率となった。今年度はこれ以上を目標にしたい。また、未加入の方へは全会員の協力を得ながら入会勧誘を続けていきたい。

第二の重点目標は直ぐに国会解散はなくとも来年十月に任期を迎える衆議院議員の総選挙である。年金、医療保険、介護保険と高齢者を取りまく問題は山積している。現退一致で支持政党の勝利に向けた取り組みは急を要する。尚、今年度の役員は次のとおり。

会長 稲福政吉
副会長 東恩納盛正
東崎原久子
屋良朝孝
垣花廣光
大田正市
浦浜清治
事務局長 与那嶺米子
事務局次長 山入端立美

向かう所敵なし
労金与儀支店創立30周年記念
Gゴルフ大会で
優勝・準優勝に輝く
沖縄県労働金庫与儀支店
開店創立記念グラウンドゴルフ大会に私たちの会からAチームBチームが参加した。場所は豊見城城趾公園。時は十一月一三日土曜日、午後一時三〇分開始。
Aチームは、山入端、久貝、花城、与那嶺の各氏と私稲福。Bチームは屋良、神谷、島袋、仲村、東、山川の各氏十一名がエントリーした。参加者一〇一名。結果はAチーム団体優勝、Bチームが準優勝を勝ちとった。個人優勝もBチームの島袋氏(四二)がとり、殆どどの賞品を二チームで分けあった。ちなみに受賞者を挙げると、三位久貝氏、四位花城氏、七位山入端氏、九位私・稲福、一三位山川氏、二〇位東氏で、本当に私たちの会は連戦連勝で『向かう所敵なし』の勢いである。
(稲福)

未来に語り継ぐ「LOVE&PEACE」 第十回長崎平和フォーラムに参加して

東崎原 久子

一九四五年八月九日午前十一時二分ナガサキに原爆投下。ピカッとしただけ、その間ものの三秒ドドドドドーン(カセットテープ約二〇秒)一瞬の内に地獄と化した。

一九七五年八月九日全国の仲間のカンパと長崎県下組合員のカンパにより「電気通信労働者原爆被爆者慰霊碑」が建立。

八二年十月二四日県下全組合員二〇〇円拠出による「原爆許すまじ」チャイムを「被爆者の店」贈呈・設置。毎日午前十一時二分、



今年、組織改革に伴い、NTT労組西日本本部、情報労連九地協、NTT労組長崎県支部の三者共催で開催された。

平和で自由な社会・地球

を子供たちに伝えるために、私たちに出来ることから始めましょう。一人一人の小さな愛と勇気が集まれば大きな力になります。そのために……あなたの愛をください。あなたの勇気をください。Please Work For The Peace of World

歌声が流れ、最後に全員で歌いながら手に合掌した。胸がジーンとあつくなり、自然に涙が流れてきた。ピースフォーラムに参加して、自分がただ形式的に知っていたことが恥ずかしくなり、参加して初めてこまかないろんな事が少し分かりほんとうに良い体験をして、自分が一まわり大きくなったような気持ちになった。感動の集会をありがとう……。

NTT労組の代表津田執行委員長のあいさつ等があり、永年役員表彰、機関紙コンクール表彰に続いて、各種報告、提案があり、それに対しての質疑、討論の後、

被爆地ナガサキに働く者として一九八五年県支部主催による「婦人と青年と子供の平和集会」以降、九〇年から「全電通九州・ナガサキ平和フォーラム」をおして、「核兵器廃絶、世界の恒久平和」に向けてメッセージを発信し続けてきた。今年、組織改革に伴い、NTT労組西日本本部、情報労連九地協、NTT労組長崎県支部の三者共催で開催された。

原爆は、ドイツを対象に開発されたが後に目標を日本に変更。京都など一ハッ所が候補に上がったが結局、広島、長崎に投下された。原爆投下の理由として早期終戦のためと言われているが二〇億ドルを投じたマンハッタン計画の成果を誇示する目的もあった。またソ連との……と色々資料館を見てただただ唾然とした。

坂田会長はあいさつで、NTT再編成で退職者の会も組織再編成で皆さんの取組に対して感謝の意をのべ、また新しい体制の定着、充実にむけて支部協との連携を強化していく、そして具体的には、(1)全国支部協代表者会議の開催、(2)重要事項の個別文書連絡、(3)支部協役員の常駐の徹底等に取り組んでいきたいとのべた。

NTT再編成で退職者の会が行われ次の役員が決った。会長 坂田 太郎氏、副会長 加藤 正春氏、副会長 竹内ツネ子氏、事務局長 石野 昇氏、次長 青木 幸裕氏

最後に中央協の役員選出が入賞の中に入り表彰を受けた。私たちが県支部協は十一支部協の機関紙コンクール、

全国総会成功裡に終る 機関紙コンクールで受賞!

一九九九年九月十四日、全電通会館でNTT労組退職者の会第一回定期総会が開催されました。

坂田会長はあいさつで、NTT再編成で退職者の会も組織再編成で皆さんの取組に対して感謝の意をのべ、また新しい体制の定着、充実にむけて支部協との連携を強化していく、そして具体的には、(1)全国支部協代表者会議の開催、(2)重要事項の個別文書連絡、(3)支部協役員の常駐の徹底等に取り組んでいきたいとのべた。

NTT労組の代表津田執行委員長のあいさつ等があり、永年役員表彰、機関紙コンクール表彰に続いて、各種報告、提案があり、それに対しての質疑、討論の後、

